

第4次・第5次連隊練成訓練



訓練開始式



発行責任所
別府市自衛隊協力会
印刷 (株)電子印刷センター



收容所の開設



徒步行進



傷病者の処置



砲迫火力の要求



防御戦闘

第4次連隊 練成訓練 第4中隊・衛生小隊訓練検閲

優秀隊員紹介

第4中隊	第1小隊	3等陸曹	吉松	佐将
	第2小隊	3等陸曹	吉川	勇輝
	第3小隊	陸士長	堀田	竜哉
	対戦車小隊	陸士長	河野	竜哉
	迫撃砲小隊	3等陸曹	詫磨	征也
	狙撃班	3等陸曹	谷口	直貴
衛生小隊				
收容所班		陸士長	山下裕里菜	

第4中隊、衛生小隊は日頃の訓練成果を十分に発揮し、無事検閲を修了した。今後、更なる練度向上を目指し訓練に邁進する。

連隊は、令和3年8月18日(水)から22日(日)までの4夜5日にわたる豪雨直後の日出生台演習場において、第4中隊及び衛生小隊の訓練検閲を実施した。本訓練検閲は、陣地防御における普通科連隊内警戒部隊に任ずる第4中隊、衛生小隊としての行動を検して、その進歩向上を促す事を目的として行った。



障害構築



陣地構築



安全化



徒步行進

第5次連隊練成訓練 第3中隊・施設作業小隊・情報小隊訓練検閲



防御戦闘



防御戦闘

優秀隊員紹介

第3中隊	中隊本部	3等陸曹	藤田	優人
	第1小隊	3等陸曹	樋口	達也
	第2小隊	陸士長	鮫島	慎平
	第3小隊	陸士長	櫻井	丹平
	対戦車小隊	陸士長	岩元	隆人
	迫撃砲小隊	陸士長	江崎	舜
	狙撃班	3等陸曹	米田	志穂
情報小隊				
第2斥候班		3等陸曹	吉松	公司
施設作業小隊				
第1分隊		1等陸士	長岡賢次郎	

今訓練検閲を通じて、受閲部隊は中隊長、小隊長を核心として日頃の訓練成果を発揮した。今後も、さらなる練度向上を目指し訓練に邁進していく。

連隊は、残暑の厳しい十文字原演習場及び日出生台演習場において令和3年9月10日(金)から13日(月)までの間、第3中隊、施設作業小隊及び情報小隊の訓練検閲を実施した。

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

第42期レンジャー帰還式



最終想定

連隊は、令和3年7月5日(月)、駐屯地においてレンジャー帰還式を行った。レンジャー学生は帰還する朝まで久住連山から伽藍岳一帯で約50kgの背のう(大型のリュック)を背負い約50kmの行程を、不眠不休で、汗や泥まみれになりながら全ての任務を完遂し、別府駐屯地に帰還した。

帰還式では、8名の任務を完遂したばかりの学生達がレンジャー旗を先頭にしっかりと足取りで進む中、駐屯地全隊員で出迎えを行い拍手や声援をかけていた。

学生長である第41普通科連隊 本部管理中隊 2等陸曹 三島翔也が連隊長に対し帰還の報告をし、その後、連隊長が一人ひとりに輝くレンジャーき章を首にかけ、グータッチで健闘を称えた。



駐屯地隊員に出迎えられるレンジャー学生



レンジャーき章受章



記念撮影

訓示では「無事の帰還おめでとう、本教育では仲間の大切さや遅れた者をフォローする事の大事さを学んだと思う。しかし、遅れた者はよく覚えていて欲しい。一つは、遅れることで任務が完遂できなくなる事、二つ目は、遅くなる事により長く潜入し仲間を危険にさらす事になることを覚えていて欲しい。また、教育を振り返り今後の任務に生かして欲しい」と訓示した。レンジャー学生達は、それぞれの部隊に復帰しこれからの人生レンジャー隊員として活躍していく。

令和3年度総合戦闘射撃

連隊は、令和3年7月10日(土)から14日(水)までの間、日出生台演習場において令和3年度総合戦闘射撃を行った。本射撃訓練は、諸職種部隊(普通科、特科、機甲科)の総合された火力発揮能力の向上を図る事を目的に一連の状況下のもと行われた。

当初、普通科部隊からの射撃要求によりFH70、120mm迫撃砲、81mm迫撃砲による攻撃準備破砕射撃を行い、その後、前進してくる敵戦車を10式戦車と87式対戦車誘導弾の射撃により撃破しました。迂回してくる敵を発見すると速やかに各隊員は情報共有を行い相互に連携し小銃や機関銃、狙撃銃等による射撃を行い敵の進行を阻止した。今後も、諸職種部隊と連携を強化し総合戦闘火力の発揮能力の向上を目指していく。



10式戦車による射撃



特科(FH-70)による射撃



87式対戦車誘導弾の射撃



敵の監視

令和3年度総合隊務指導



状況報告



保全ポスターの確認



現場確認

連隊は、令和3年8月25日(水)から27日(金)までの間、別府駐屯地において令和3年度総合隊務指導を受検した。

総合隊務指導とは秘密保全や行政文書の適切な管理要領、情報保証の業務要領を検査・監査・指導する事を目的として行った。

各中隊は、日頃から隊員に対し保全教育や啓発ポスター及び標語などの作成、またカウンターインテリジェンス教育(外部からの諜報活動に対抗して、情報が外部に漏出するのを阻止する活動を)行っており、この取り組みは高い評価を受けた。

今後も引き続き規則に基づき業務に努めていく。

令和3年度第2回連隊小部隊対抗訓練

連隊は、令和3年9月28日(火)から30日(木)までの間、秋風が吹く十文字原演習場において連隊小部隊対抗訓練を行った。この訓練は、レーザー交戦装置、交戦用訓練装置(通称パトラ)を小銃、機関銃、狙撃銃及び身体に装着し、実戦さながらの緊迫した中で、小部隊指揮官の実指揮能力の向上及び隊員の近接戦闘能力の向上を目的として行われた。

小隊長は刻一刻と変わる状況を速やかに判断し隊員に命令を与え、各隊員は相互に連携し任務に邁進した。

また本訓練に参加した若い隊員は「上級者が損耗を受け、指揮の継承要領を訓練出来たのは非常に良かった。また、各隊員と連携し最後まで戦い抜けたのは嬉しかった。」と感想を述べた。



攻撃前進



敵方を警戒し前進



射撃前進



敵方を監視



遭遇戦

日出町防災訓練

連隊は、令和3年8月26日(木)に大分県速見郡日出町で実施された日出町防災訓練に参加した。本訓練は災害対処能力の向上及び関係機関との連携強化を図る事を目的としており、関係機関6団体が参加した。

訓練では南海トラフ地震が発生した事を想定し、倒壊した家屋から足を骨折した想定の実験者を救助し、ヘリポートまでの搬送を担当した。訓練後の検討会では、訓練に参加した隊員からは、関係機関と顔を合わせて良好な関係を築く事ができ、また、今後の連携強化の資となった等、多くの成果があったと語っていた。今後も地域や関係機関と連携の維持強化を継続していく。



要救護者の搬送



関係機関との連携搬送

新隊員特技課程教育修了式

連隊は、令和3年9月21日(火)別府駐屯地体育館において、令和3年度新隊員特技課程教育修了式を執り行った。桜が咲き誇る4月に入隊して約3ヶ月間、自衛官候補生として自衛官の基本基礎を修得し、その後普通科隊員としての技能を修得するために別府駐屯地において7月から約3ヶ月間にわたり機関銃射撃、81mm迫撃砲・120mm迫撃砲の縮射弾射撃など普通科隊員としての射撃方法を学ぶとともに暑さの厳しい中での訓練に耐え抜き、晴れてこの日を迎えた。

修了式では連隊の隊員が見守る中、一般陸曹候補生 2等陸士 安邊優が気迫のこもった声で連隊長へ修了申告し、新隊員を代表し2等陸士 川添美奈が「教育間、仲間の大切さ、協力する事の重要性を学びました。今後は、各部隊・中隊に配属となり新たな一歩を踏み出します。まだまだ未熟な所がありますが一日も早く戦力となれるように精進します。」と述べた。決意を新たにした新隊員達は各部隊・中隊に配置され特技課程教育で学んだ事を基に、新たな自衛隊生活を歩んでいく。



修了式



表彰



決意表明

偵察部隊等集合訓練

連隊は、令和3年9月10日(金)日田市において第4師団司令部が実施する偵察部隊等集合訓練に参加した。この訓練は、災害発生地域において情報収集を行い災害対処に係る情報収集能力の向上を図る事を目的として行った。

訓練場所では被災地域と想定した場所の状況を確認するためにドローンと映像伝達装置を使用し、隊員が直接確認する事が困難な場所でも速やかに被災状況の情報を収集し、地形の確認や撮影ニーズに沿った現場における操作訓練を行った。



器材の点検



ドローン及び映像の確認



ドローン操縦訓練

各中隊行事・訓練風景

本部管理中隊



傷病者の救護



徒步行進

第3中隊



徒步行進



防御準備

第1中隊



81mm迫撃砲の縮射弾射撃



110mm個人携帯戦車弾の縮射弾射撃

第4中隊



格闘訓練成



81mm迫撃砲の射撃

第2中隊



応急出動訓練



87式対戦車誘導弾の照射

重迫撃砲中隊



120mm迫撃砲の縮射弾射撃



炊事訓練

令和3年度前期定期異動者紹介

転出者

第41普通科連隊から

連隊本部 誠司 (22名)

●2等陸佐 服崎 (小平)

●3等陸佐 曾我 (小平)

●幹部候補生学校 崇 (前川原)

●本部管理中隊 大樹 (7名)

●第16普通科連隊 真智 (大村)

●自衛隊大分地方協力本部 大樹 (別府)

●自衛隊大石 雅智 (別府)

●別府駐屯地業務隊 義和 (福岡)

●第4師団司令部付隊 守 (山口)

●2等陸曹 森岡 (大津)

●2等陸曹 本多 (福岡)

●第17普通科連隊 太 (山)

●2等陸曹 岩男 (大津)

●2等陸曹 山あゆみ (福岡)

●第4陸曹教育隊 守 (福岡)

●第4後方支援連隊 守 (福岡)

●第1中隊 宏明 (1名)

●第1中隊 住吉 (富士)

●第2中隊 大原 (3名)

●第3中隊 大原 (福岡)

転入者

第41普通科連隊へ

連隊本部 修二 (2名)

●2等陸佐 三好 (富士)

●3等陸佐 原田 (前川原)

●幹部候補生学校 明徳 (3名)

●本部管理中隊 大資 (千僧)

●第3師団司令部付隊 功 (相浦)

●自衛隊水國 功 (東千歳)

●水陸機動団本部付隊 功 (宇都宮)

●2等陸曹 藤本 (信太山)

●2等陸曹 藤本 (3名)

●第7通信大隊 功 (対馬)

●第1中隊 孝師 (2名)

●1等陸曹 黒木 (宇都宮)

●中央即応連隊 孝師 (信太山)

●第2中隊 裕春 (3名)

●第2中隊 藤本 (相浦)



駐屯地見送り行事



見送り

別府駐屯地 Twitter 更新中!! 陸上自衛隊別府駐屯地(公式) フォロー



平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

別府駐屯地業務隊

定期健康診断

別府業務隊衛生科

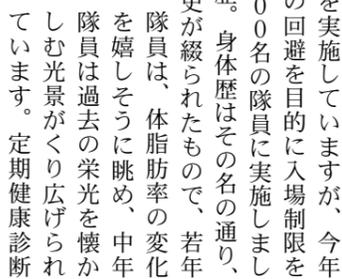
衛生科では例年4月～5月の間に定期健康診断を実施していますが、今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、3密の回避を目的に入場制限を行い、期間も4月～7月までに延長して、約1,200名の隊員に実施しました。隊員の待ち時間の愛読書は、それぞれの身体歴。身体歴はその名の通り、入隊時から現在に至るまでの個人の健康管理の歴史が綴られたもので、若年隊員は、体脂肪率の変化を嬉しそうに眺め、中年隊員は過去の栄光を懐かしむ光景がくり広げられています。定期健康診断では、歯科医官による口腔内の健康確認および指導が、衛生科長による判定では、簡易な健康相談も受けられ、ここで指摘された事項は、隊員自身で改善計画を作成し、その後の健康管理に役立てられます。



「採血はドキドキするなあ…」



歯科医官が虫歯や歯肉の状態を確認します



身体歴を見ながら静かに待ちます

第404会計隊

令和3年度西部方面会計隊長 訓練検閲を受閲して

令和3年7月24日から25日までの間、大矢野原演習場にて令和3年度西部方面会計隊長訓練検閲を受閲しました。

訓練初日、コロナの感染防止に努めながら隊容検査により士気を高め展開地に向け前進しました。展開地進入後は、施設の開設、陣地の構築等を実施しつつ宿営、その間、他部隊の巡察者や不審者の対応及び戦闘間における負傷者の救護の状況に対応し、翌日の自衛戦闘をもって状況終了しました。講評では指揮所勤務した具志堅二曹が優秀隊員として西部方面会計隊最上級曹長より表彰されました。

結果として、コロナ感染に留意しつつ、訓練は無事終了しましたが、改善すべき事項は多々あり、今後の訓練により改善に努め、部隊及び隊員練度の向上に努めていきたいと思



訓練検閲



訓練検閲

第3普通科直接支援中隊

第3回中隊練成訓練

令和3年8月19日から8月22日までの間、日出生台演習場で第41普通科連隊が実施した第4次連隊練成訓練同行支援に合わせ

て第3回中隊練成訓練を実施しました。一連の状況下において状況が閑な時間を活用し、有吉士長及び安部士長に対する重レッカー操作訓練を実施した。本訓練を通じて、水平移動等の基本的な操作要領について概ね修得できた。今後はウインチを使用した車両の回収及びつり上げから回収車への積載等、実践的な動作について演練を重ね陸曹任官後は、中隊の核たる存在になれるよう、大いに期待している。



重レッカー操作訓練



重レッカー操作訓練

大分地方協力本部 大分地域援護センター

任期制隊員の就職補導教育を支援

大分地域援護センターは、令和3年8月4日(水)に任期制隊員の就職補導教育を支援した。

就職補導教育は各四半期に1回を基準に、その時期の特性に応じた内容を教育するもので、第二四半期は、「履歴書等作成のポイント」について21名の任期制隊員等に対し実施した。特に就職を希望する企業の仕事内容と自分の強みについて理解し、自信を持ち、自分の言葉で表現する事の重要性について教育した。本教育の支援等を通じて、大分地域援護センターは隊員の希望に沿う再就職の援助を継続して実施します。



別府駐屯地援護会同の様子

第134地区警務隊別府派遣隊

警務隊の活動状況

警務隊は、令和3年秋の全国交通安全運動に伴い駐屯地における事故防止啓蒙活動と連携して交通三悪、特に飲酒運転撲滅、速度違反防止の注意喚起に資する防犯活動に努めた。



各部隊に対する防犯資料の提供

また、日出生台演習場、十文字原演習場で実施される大規模演習において、演習場内を確認し、場内道路の危険箇所の把握を行うとともに、交通事故防止、各種犯罪の防止についての防犯活動を行った。



大規模演習に伴う演習場の確認

第304基地通信中隊 別府派遣隊

基地効率化に向けて

第304基地通信中隊別府派遣隊は令和3年9月1日、令和四年度末の第102基地システム通信大隊長を迎え、基地システム通信大隊の体制改革に伴う業務の効率化について説明を受けた。

南西諸島の駐屯地及び電子戦・サイバー対処部隊の新編に伴い、我が基地システム通信部隊が縮小化されることは必至であり、如何に業務を効率化するかが今後の隊務運営の焦点となる。



体制改革説明

別府駐屯地公式Twitter



陸上自衛隊別府駐屯地 (公式)

@Camp_Beppu

陸上自衛隊別府駐屯地のツイッターを開設しました。別府駐屯地をたくさんの人達に知っていただくため駐屯地の活動(行事・訓練風景・隊員の様子等)を発信していきたいと思ひます。あわせて、別府駐屯地ホームページも是非ご覧ください。#陸上自衛隊 #第4師団



7~9月 定年退官者紹介

目指せ夢は大きく フォロワー1万人!

〔7月18日付〕 別府駐屯地業務隊 1等陸曹 梅尾 聖一

〔7月22日付〕 第41普通科連隊第1中隊 准陸尉 芹川 寛

〔7月25日付〕 第41普通科連隊本部管理中隊 准陸尉 奥野 忠之

〔8月14日付〕 第41普通科連隊本部管理中隊 陸曹長 佐野 敏広

〔9月4日付〕 第41普通科連隊第2中隊 陸曹長 亀山 明

〔9月10日付〕 第41普通科連隊第1中隊 陸曹長 仲 敬一郎

永年にわたる勤務 おつかれさまでした

部外講話

駐屯地は、令和3年9月3日(金)別府駐屯地体育館において講師に元陸上自衛隊西部方面隊の総監であり、別府駐屯地在隊間は第3中隊長を務めた木崎 俊造氏を招き「OBの伝言板」と題し講話を行った。特に印象的であった「頑張る木こり」や「分析について」は、勤務や野外訓練のみならず日常生活においても自らの努力次第で様々な教訓を得られるなど、「自ら考えて学ぶ」ことの重要性を我々に示唆するものであり、一人一人の知見を広げる内容であった。



講話をする木崎氏
 講話に参加した隊員は「常に研鑽の気持ちを持って勤務に取り組んでいくことが重要であり、普段の生活においても自身自身を成長させる機会は無数にあると気付かされた。」と感想を述べた。



内容を書きとめる隊員



聴講風景

曹友会活動



新隊員特技課程教育の激励



あいさつ運動



忠魂碑の清掃



曹友会連合会長より褒賞状受章

駐屯地サークルクラブ 紹介

拳法部

別府駐屯地拳法部(拳翔会)は現在28名で活動しています。部員については格闘経験者、未経験者ともに在籍していますが、全員が一丸となって切磋琢磨して日々、稽古に励む為、身体も精神力も成長させることが出来る部活です。

現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により予定されていた大会が中止となり、目標や活躍する場所がなくなっていますが、拳法を通じて礼節を学び自衛隊員として闘争心の涵養を向上する事を目指し稽古に励んでいます。

これからも仲間と日々稽古し、各種大会において優秀な成績を収められるよう技に磨きをかけ、自他共栄、各人が成長していけるように勇往邁進していきます。



令和元年度師団大会



熱戦を繰り広げる選手



間合いを詰める

陸上部

別府駐屯地陸上部の部員数は現在18名が在籍しています。部員は各中隊や諸隊から入部を希望した隊員が日々練習を重ねていき各種大会へ参加します。毎日、練習とは別に、「ポイント練習」という身体への負荷及び質の高い練習を週に2〜3回行い更なる走力の向上に努めています。各人は練習内容や重要性を理解し実践することで走力が日々向上していきます。

また、特に陸上部の大きな目標とし、富士登山駅伝大会、全国自衛隊陸上大会、大分県県内一周駅伝大会の三大大会で好成績を収める事を最大の目標とし、日々練習に励んでいます。

現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、各種大会が中止になっていますが部員は、いつ開催されてもいよいよ毎日の練習を行いチーム一丸となり日々励んでいます。



県内1周大分合同駅伝競走大会



襷を繋げる選手



激走する選手

別府駐屯地 Twitter 更新中!! 陸上自衛隊別府駐屯地(公式) フォロー

